

## トータテ牛田早稲田の住宅団地

### 「SATONOW」里びらき

㊦トータテ都市開発（中区国泰寺町2-4-7、川西亮平社長）は、東区牛田早稲田3丁目の敷地約3万平方メートルで進めている宅地開発事業「SATONOW」（サトノワ）ヴェルコート牛田早稲田」の里びらきイベントを8・9日に開催した。

5年前から開発し、全国で地域・団地再生を手掛ける㊦ブルースタジオ（東京都、大地山博社長）の企画・監修のもとリノベーションをテーマに進めてきた。この度、賃貸住宅8世帯「SATONOW A TERRACE」や広島女学院大学との共同企画「コミュニティハウス」など、地域住

民交流の場「わせた広場」一帯の施設整備が完了したことで「里びらき」を開催。広場内に、県産の野菜などを販売する「とれたて元氣市出張マルシェ」やマスク用のアロマスプレー作り講座、フォトラリーなどのコーナーを設けた。

企画に携わったブルースタジオの大島芳彦専務が、まちづくりのコンセプトや特徴を紹介しながら団地内の散策ツアーを行った。散歩するだけで住民とのコミュニケーションが生まれる各戸をつなぐ遊歩道「フットパス」市内を一望できる「星のはらっぱ」、緑豊かな公園「森の遊び場」など、団

地全体に「人」「住まい」「里」「緑」がつながり合う仕掛けが施してある。

全131区画で、全てにエネファームを標準搭載する。昨年5月に第1期（全14区画）を販売開始し、現在第2期を販売している。今後、年間30〜40区画を販売し、3年後をメドに完売する計画。施工は㊦トータテハウジング、販売はトータテ住宅販売㊦。川西社長は「今の時代に合った住宅地ができた。これからは新しい価値をつくっていくながら常に発展する住宅地になれば」と話した。